

質問	回答
本教材の対象学年は何年生か。	主に小学校4年生から6年生を対象としているが、学年に限らず利用できるものが望ましい。
学校において本教材は具体的にどのような活用がされるか。また鳥取県としてはどのような活用が望ましいと考えるか。	DVDを視聴する、実習的な授業の中で活用するなど、学校等の都合に応じた使い方をさせていただくことを想定している。本県としては、県内すべての小学生があいサポート運動について学び、あいサポート運動を実践していただきたいと考えているため、授業等の中で活用いただくことが望ましいと考える。
仕様書4 業務の目的中「様々な活用」とはどのようなものか。	主に教育機関等へ制作物の配布、貸与、県ホームページでの公開、県等が実施する研修会での使用(学校でのあいサポート学習会、出前講座など)を想定している。
仕様書 留意点中の「ポストコロナ、ICT技術の活用など、いまの状況を的確に反映したものとする」とはどのようなことか。	例えば、きこえない・きこえにくい人に対応するときは、できるだけマスクを外すことや、音声文字変換アプリなど障がい者の生活を支援するICTの活用を紹介すること、一方で、デジタル技術が普及し生活が便利になる反面、弊害もあること(セルフレジ、タッチパネルの普及で視覚障がいの方が困ることなど)について紹介すること等が考えられる。
仕様書 留意点について「ストーリー仕立てにする、主人公を置いたドラマ仕立てにする」以外の演出でもよいか。	よい。
動画、ハンドブックで紹介する障がいの特性、困っている事、配慮方法は、仕様書に書いてある障がいのみでよいか。	仕様書にある障がいのみでも差し支えないが、その他の障がいについて触れることを妨げるものではない。